



西村 哲夫(にしむら・てつお)氏
静岡県がんセンター副院長 兼 放射線治療科部長
1975年名古屋大学医学部卒。76年都立駒込病院放射線診療科、78年浜松医大放射線科勤務。2002年静岡がんセンター放射線治療科部長。11年同センター副院長。放射線治療専門医。日本放射線腫瘍学会代議員、同小線源治療部会常任幹事。

放射線治療の現状

日本のがん患者数は毎年増加し、2005年には68万人が新たにがんにかかったと推定されています。一方、放射線腫瘍学会によると同年には16万人が新たに放射線治療を受けており、がん患者さん全体の約4分の1が放射線治療を受けたとみなされます。この数は急増し2009年には20万人を超えました。

放射線治療には、①外部照射法、②密封小線源治療法、③アイソトープ内用療法法の3種類があります。①は外から

放射線治療の現状と新たな展開

放射線を照射するもので、この外照射が最も一般的な放射線治療法です。外照射の主力装置であるリニアックは750以上の施設に設置されています。これ

放射線を照射するもので、この外照射が最も一般的な放射線治療法です。外照射の主力装置であるリニアックは750以上の施設に設置されています。これ

ターゲットング法は遠隔操作で、直径1cmの線源を病巣に送り込む方法で子宮頸がんの治療などに欠かせません。一方永久挿入治療法は、針で線源を病巣内に刺入する方法で、日本では前立腺がんに行われています。

放射線同位元素を体の中に内服や注射によって取り入れ、治療します。

進化する放射線治療

放射線治療の対象は、全身になって、感染や貧血、出血などの症状が起こり、死に至ることもあります。

一方、骨髄から外に出た大人の血球が、がんになる代表的疾患が「悪性リンパ腫」や「多発性骨髄腫」です。がんになった血球は全身に行き渡っているため、悪性リンパ腫は身体中どこにも出現し、たとえばリンパ節にぐりぐりの腫れ物ができるなど、症状もさまざまです。

治療法の選択

病気の種類と広がりかわれば次は治療です。心臓、肝臓、腎臓の疾患や、糖尿病などの重い合併症がないか、全体の調子はどうか。それら

血液のがんの治療と移植

血液のがんとは、血液中の血球(細胞)ががんになる病気です。骨髄の中にある造血幹細胞の中で生まれた血球は、外部から侵入した細菌やウイルスと闘い免疫を構築する白血球や、からだのすみずみまで酸素を運ぶ赤血球、ケ

「骨髄異形成症候群」です。骨髄の中でがん細胞が増殖するために、正常な白血球や赤血球、血小板などが作れなく

人程度がかかるとされ、静岡県内でも毎年1000人以上の患者さんが発生しているという現実があります。

を総合的に判断して、治療方針を決めていきます。急性骨髄性白血病の場合、いくつかの検査結果を組み合わせてみると、この人は1回の治療でどのくらい治るとい

次に骨髄移植です。正式には造血幹細胞移植と呼び、骨髄に詰まっている血液の赤ちゃん「種」をいったんカラにしてしまっ、新しい造血幹細胞とそっくり入れ替える治療です。その際、自分の種を使うのか他人からもらうのかで呼び名が変わります。自分の種を使うのが自家移植、他人の種をもらう場合を同種移植と呼びます。

自家移植では、まず血液中の血球を強い抗がん剤でカラにします。叩き残さないよ

症を完全に防止することはできませんが、治療の前には慎重に治療計画を行い合併症の発生を最小限にする努力が行われます。また二次発がんも合併症の一つと考えられますが、その発生する頻度は高くない、目の前にあるがんの治療によって得られる利益のほうが、がん発生の危険を上回ると考えられています。

池田 宇次(いけだ・たかし)氏

静岡県がんセンター血液・幹細胞移植科部長
1994年香川医大(現香川大医学部)卒。98年同大学院修了。防衛医科大学血液内科、米国ハーバード大ダナ・ファイバー癌研究所への留学を経て2007年より現職。専門は造血器腫瘍、造血幹細胞移植。日本血液学会指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医。

そこで血液の病気を疑い検査します。白血物の疑いなら直接骨髄を取って調べてみる

治療法を選択していきま

自家移植では、まず血液中の血球を強い抗がん剤でカラにします。叩き残さないよ

最近、臍帯血移植といっ

移植には特有の合併症が

これだけは知っておきたい
がん医療の新潮流
静岡県立静岡がんセンター公開講座第8弾「これだけは知っておきたいがん医療の新潮流」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館主催、県立静岡がんセンター共催、スルガ銀行特別協賛、三島市、同市教育委員会後援)の第2回が10月22日、三島市民文化会館で開かれ、西村哲夫副院長兼放射線治療科部長が「放射線治療の現状と新たな展開」、池田宇次血液・幹細胞移植科部長が「血液がんの治療～移植～」について講演しました。その概要をお伝えします。
<企画・制作/静岡新聞社企画事業局>

骨髄移植の仕組み
大のメリット
です。ところが新しい免疫システムはが

池田 宇次氏

が新しい免疫システムはが

最近、臍帯血移植といっ

タウンミーティング
質疑応答
事前や当日寄せられた質問を中心に質疑応答が行われました。紙面の都合により、本講座の内容に即した質問事項をまとめました。
Q 検査や治療による被ばくが心配です
西村 病気をより正確に診断するための検査は重要です。しかし回数が増えれば被ばく量も増えるので、医師は必要最低限の検査で済むように注意を払っています。患者さんも病院を変えた際などにはこれまで受けてきた検査と回数を医師に伝えるとより安全でしょう。また、検査、治

療で得られるメリットを考える必要もあります。
Q 白血病の早期発見方法は
池田 血液中に異常が発生するので、健康診断や人間ドックの血液検査で白血病を早期発見することが可能です。またCT検査でリンパ節の固まりを捉えることもできます。しかし、白血病になりやすい生活習慣がないため、健康的な生活を続け、定期健診を欠かさないことが重要です。